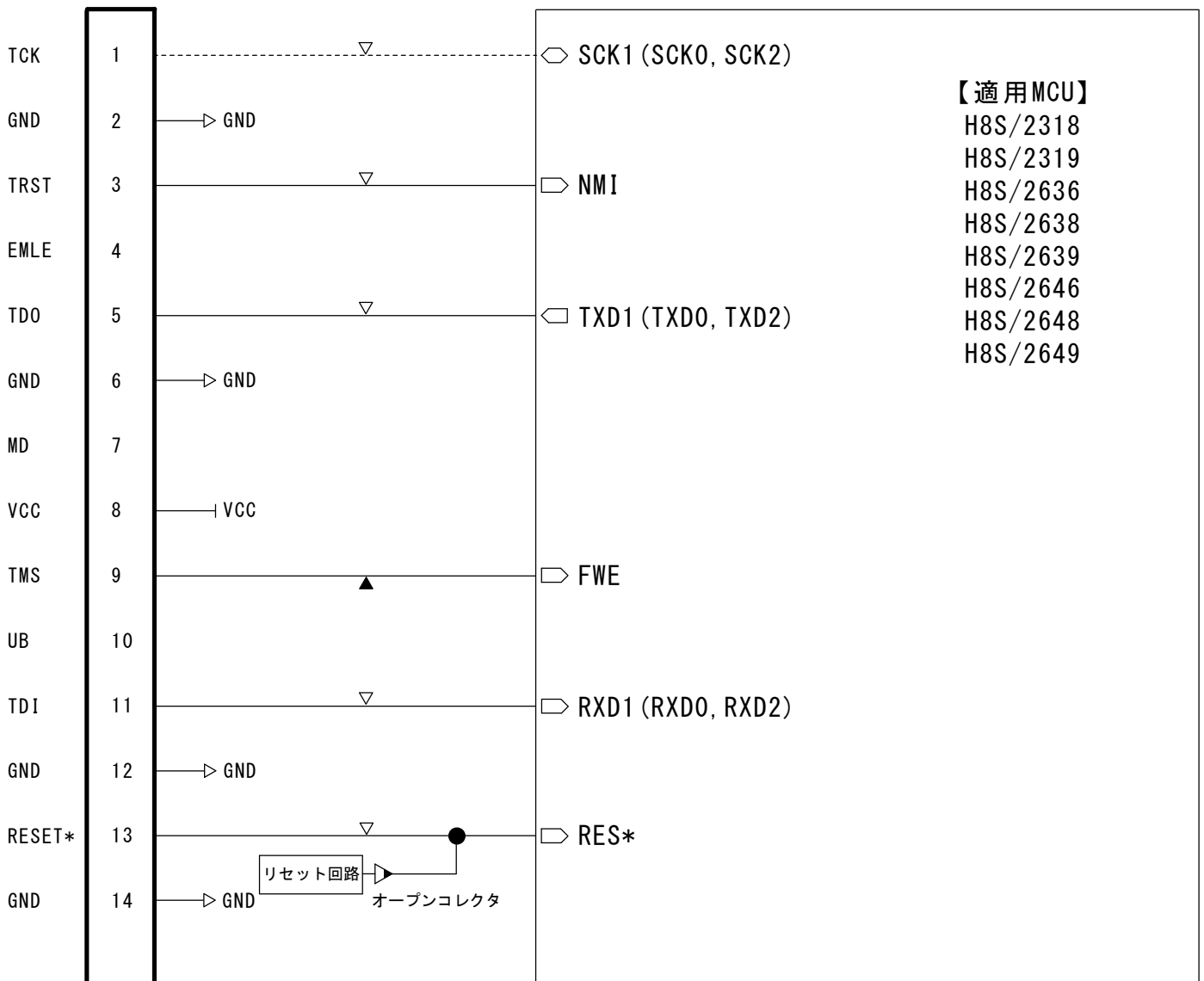


【接続例19】 H8S/2318, 2319, 2636, 2638, 2639, 2646, 2648, 2649の場合（ブート接続）

AH8000接続コネクタ ユーザシステム



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です。▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) リセット回路の遅延時間は200msec以下になるようにハード設計をしてください。
- 3) CPU動作モード（ブート・実動作）設定回路は、ユーザー（ターゲット）側で用意して下さい。
- 4) CPU設定でターゲットI/Fを調歩同期/クロック同期の選択ができます。
 調歩同期側に選択した場合は、SCKを開放にして下さい。
- 5) ブートポート経由でモニタ書き込みが可能なシステムであればCPU設定によりポートを変更することができます。
 （H8S/2636, 2638の場合のみ変更可能です。）
- 6) 未使用ピンは、どこにも接続せず開放にして下さい。